令和3年度 第4回 高知県公立大学法人経営審議会議事録

- 1 日 時: 令和4年3月23日(水)14:00~15:30
- 2 場 所:高知県公立大学法人 永国寺キャンパス教育研究棟3階 役員会議室
- 3 会場出席者:中澤 卓史、磯部 雅彦、野嶋 佐由美、青木 章泰、五百藏 高浩、蝶野 成臣、

谷脇 明、上田 達哉、国則 勝英、伊藤 博明、岡村 昭一、十河 清、弥勒 美彦、

WEB 出席者:尾池 和夫、春日 文子、

監事:浜田 正博、松本 幸大 欠席者:佐竹 慶生、法光院 晶一

4 議事録署名人の選出

規程により理事長が議長を務め、議案について審議を行った。 本経営審議会の議事録署名人として、岡村委員と弥勒委員を指名した。

5 議事

- 1号議案 令和4年度高知県公立大学法人年度計画について 事務局からの説明ののち、議案について審議を行い、原案どおり承認された。
- ・ 委員より、大学機関別認証評価の機関について質問があり、次のとおり回答があった。
- ・ 高知県立大学より、認証評価は大学基準協会で受審するとの回答があった。
- 委員より、今後のオンライン授業の実施方針ついて質問があり、次のとおり回答があった。
- ・ 高知県立大学より、基本的には対面授業を中心として実施し、学習効果があるものと感染対策が難 しいものはオンライン授業を継続しながら、対面授業に戻していく。また、授業形態は時期によっ て柔軟に対応していくとの回答があった。
- ・ 高知工科大学より、対面とオンラインのハイブリッドで実施するとの回答があった。また、オンデマンドは時空間的なデメリットを乗り越えられると考えていることからもオンライン教育を積極的に取り入れており、今後も活用していく予定であるとの回答があった。
- 委員より、法人統合の目標とその効果について質問があり、次のとおり回答があった。
- ・ 理事長より、教育研究部門は学長の権限のもと各大学で大学独自の個性を発揮している。なお、 県立大学は前期後期制で、工科大学はクオーター制となり、単位の互換性が難しく、効果は限定 的であると考えている。事務の合理化については、情報システムなど部分的に合理化できてお り、これから先の更なるデジタル化に伴い、キャンパスが分かれていることも克服できると考え ている。最も効果が表れていることは、事務職員の人材育成であり、法人本部と2つの大学で人 事異動ができるようになり、お互いの違いが分かることで、より良いものを考える思考ができや すくなっている。なお、個性を活かしながら、統合のメリットを活かすことは、工夫が必要で、 効果は直ぐには難しいと考えているとの説明があった。

- 2号議案 高知県公立大学法人令和3年度予算の補正について
- 3号議案 令和4年度高知県公立大学法人当初予算について
- 4号議案 高知県公立大学法人本部組織規程の改正について(当日配布)
- 5号議案 高知県公立大学法人給与規程の改正について
- 6号議案 高知県公立大学法人職員の育児・介護休業等に関する関連規程の 改正について

事務局からの説明ののち、議案について審議を行い、原案どおり承認された。

7号議案 高知工科大学収容定員の変更について

- ・ 委員より、新学群の新設に伴う再編であるのかとの質問があり、次のとおり回答があった。
- ・ 高知工科大学より、新学群の構想とは異なる理由からの収容定員の変更である。現在は、高専でも学位が取得できるため、大学に編入したいという学生の需要が極めて少なくなったため編入学 定員を変更したとの回答があった。
- ・ その後、原案どおり承認された。

6 報 告

- 1号報告 申請手続き等における押印義務廃止に伴う様式の改正について
- ・ 委員より、デジタル化を推進してく中で、押印の廃止の最終目標についての質問があり、次のと おり回答があった。
- ・ 理事長より、国や県の押印廃止に伴い、大学でも先ずはできるところから押印を廃止するとの回答があった。
- 2号報告 高知県立大学委員会設置規程の改正について
- 3号報告 高知県立大学大学ハラスメントの防止等に関する規程の制定及び高知県立大学人権 委員会規程の改正について
- 4号報告 高知工科大学組織規程の改正について(当日配布)
- 5号報告 高知工科大学事務分掌規程の改正について(当日配布)
- 6号報告 高知工科大学研究費管理規程改正に係る修正について
- 7号報告 高知県立大学及び高知工科大学における活動報告について
- ・ 委員より、山本教授のトンガ地震の超低周波音記録が公開されていており、共通試験を開催するかどうかの判断材料となった。また地球をもう一周した音波を捉えたことは快挙であるとの意見があった。

7 その他

委員より、高知県教育委員会からとして次のとおりお願いがあった。

四国初の国際バカロレア校の認定を受けている高知県立高知国際高校の初の卒業生は、R5年3月である。国際的に通用する大学入学資格(国際バカロレア資格)を取得した学生に対して、県立大学と工科大学でも門戸を開いて欲しいと既に依頼をしているが、現状の検討状況を教えて頂きたいとのお願いがあった。また、必要があれば実際に授業を見学に来ていただくことも可能との説明があった。

・ 高知県立大学より、昨年の 10 月頃から検討に取り組んでいるとの回答があった。

・ 高知工科大学より、 選抜形態を検討し [~]				れ態勢を	·検討中	であり、	推薦・-	般選抜など)	人試
理事長より理事長交代 ・ 理事長より、現理事					とは伊藤孝	€員である	ると報告	があった。	
以上により、本日の議事	を終了した。	0							
うえのとおり、確認を	する。								
			7	う 和	年	月	日		
	議	長 _					Œ	<u>)</u>	
	議事録署	名人 _					Œ	<u>)</u>	
	議事録署	名人 _					Ą	<u>)</u>	